

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成23年9月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670600149号
法人名	医療法人互舎会
事業所名	グループホームはまなす
所在地	鹿児島県阿久根市脇本9093番地2 (電話) 0996-75-0320
自己評価作成日	平成23年9月15日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成23年10月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

母体医療機関の敷地内に設置されている利点を活かし、医療面での24時間早期のバックアップ体制が整備されています。利用者及び家族の一人ひとりの思いや希望を大切にしながら、安心と尊厳のある生活が送れるよう支援しています。ホームの畑で収穫した季節の野菜や、散策で取れた山菜なども食材にして楽しみのある食事作りを心がけ、毎日の暮らしの中で、個々有用感を感じられるような機会を提供しています。地域の保育園児との交流や、家族、地域の方、他の事業所の職員の方達が気軽に訪問して頂き、利用者と一緒に触れ合えるようなホームの運営を心がけています。

ホームの理念に沿った介護を実践するため「利用者の心身の状況に応じ、尊厳を大切にしながら自立を妨げない介護」を、目指し支援している。開設当初から勤務している職員ほとんどで利用者との信頼関係形成が図られている。法人も職員と利用者、家族とのなじみの関係の重要性を理解し、法人内異動も少ない。職員は排泄の自立や、浴槽内にゆっくりつかる支援に力を入れており、利用者とともに目標を掲げ毎日、足の筋力低下を防ぐリハビリに励んでいる。管理者は利用者の生活の質の向上を図るために、地域との交流や外出支援を目標に掲げ、積極的に外に出る取り組みを行っている。生き生きサロンや地域行事への参加、中学生の職場体験受け入れや保育園児との交流、なじみの人や場との関係継続の支援などに努め、利用者に自由な暮らしを提供している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ホームの理念である尊厳、安心、自立を柱としてふれあいを大切にしながら、安心して暮らせる環境を提供している。	運営理念に「あなたと家族の絆、地域とのふれあいを大切に支えていきます」と謳い、職員会議などで理念の振り返りを行っている。利用者の状況に応じ、尊厳を大切にしながら自立を妨げない介護を目指している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的とはいえないまでも地域の行事に参加したり、地域の農産物直売所などで、買い物、見学して交流の機会が出来るように努めている。	保育園に利用者手作りの雑巾を寄贈し、園児との交流が密に出来ている。地区行事の生き生きサロン、運動会、物産館に出かけている。また、中学生の職場体験受け入れや、地区住民や他ホーム職員のボランティア訪問、長島造形展には全員で外出するなど、地域住民との交流を図っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	実習生の受け入れ等で事業所として役立ちたいと考えている。利用者が雑巾を縫って保育園に寄贈し、喜ばれている。地域の生き生きサロンへ出かけて認知症の人への理解を深めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進会議では、利用者状況や外部評価の結果報告、日常的な取り組み等報告し、家族、行政、地域の方達から出された意見をケアに活かせるようにしている。	会議はホームの行事に絡ませるなど工夫し、定期的開催できている。運営推進会議がきっかけで地域との交流がスムーズにできるようになり、理解も得られるようになった。	

鹿児島県 グループホームはまなす

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	推進会議には、包括支援センター市の介護保険課より毎回出席してもらい、率直なご意見や他のホームの取り組み等の情報も得ながら業務の参考にして協力を頂いている。	利用者に生保者、成年後見制度を利用している方がおり、市町村とは常に連携を図って協力関係を築くように取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施錠は夜間のみとし、一人ひとりが自由に暮らせるよう配慮している。禁止の対象になる行為等、勉強会で再確認し、身体拘束しないケアの実践が図れるようにしている。	法人で行われる毎月の身体拘束委員会に参加している。ホームでは職員会議の中で研修計画を立て、研修で身体拘束の内容とその弊害を認識し、身体的・精神的苦痛を理解し、拘束のないケアを実践している。自由に外出している利用者もいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体面だけでなく、言葉や態度などケアの全てが虐待にならないよう常に申し送りや、勉強会で自身の振り返りをしている。併設病院の医療安全身体拘束廃止委員会に月1回参加している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する制度への理解は、社会福祉協議会の係りの人を招き研修会を開催しており、知識の習得や、個々の必要性を認識して活用している。		

鹿児島県 グループホームはまなす

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居申し込み時から入居決定時、重要事項の説明書、運営規定などきちんと説明し理解、納得していただいた上で契約している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の思いや、希望、意見、不満など何でも気軽に話せるような雰囲気を作っている。苦情相談受付箱を設置しているが、家族や面会に来られた方達にご意見を頂き、運営に反映できるようにしている。	ホーム便りを年4回発行している。また、毎月ハガキに写真をのせて利用者の状況報告を行っている。面会時や運営推進会議でも意見交換できる機会を作っている。開設当初からの職員がほとんどで家族との信頼関係もあり、管理者以外の職員も対応できる利用者主体の運営ができている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月2回の勉強会や、個別面談等、気軽に意見や、提案が出し合える雰囲気を皆で作り、申し送り、連絡帳の活用で意見を反映させている。	職員会議で業務の見直しやハード面の改善、薬の管理や受診介助など職員の意見や提案を聞く機会を設けている。申送りや連絡帳で情報を共有できている。職員の離職が無く、また利用者との信頼関係が深いことが、家族の安心に繋がっている。母体医療法人との連携で、職員にとって夜間勤務時間帯、安心して働ける職場環境である。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格手当や、労働環境も配慮してもらっており、ハード面でもサポートを頂いている。職場環境は整備されている。		

鹿児島県 グループホームはまなす

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の研修には、全職員が交代で参加している。月4回の院内研修をはじめとして、月2回の勉強会や、研修会への参加をして知識の習得や、介護技術のスキルアップに繋げている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地区、グループホーム協会に加盟し研修や交流の機会を持ち、他事業所との相互訪問、意見交換を行いながら、サービス内容の見直しや業務改善に役立てている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	表情や、動きなどで洞察しながら、個別に傾聴する機会を設け本人の不安感を受けとめホームや、職員に対して安心感を得られるような言葉掛け、配慮をしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の困っている事や不安な事、希望など時間をかけて傾聴し、信頼関係の構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談があった時、必要としている支援を見極めながら他の施設や、サービス（デイサービスや訪問介護）の内容も説明、提案して対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護する人、される人と言う関係ではなく、一緒に生活しているひとりの生活者として関わっている。生活、文化、知恵など学ばせて頂く場面も多く、支えあう関係は築けている。		

鹿児島県 グループホームはまなす

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族と共に本人を支えていくという姿勢は開所当初より続いており、利用者の日々の出来事や、気づき、本人の思い等情報を共有して良い関係が築けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔から利用していた美容院に出かけたり、知人や友達が面会に来られている。墓参り、法事への出席で親類の人達との交流を図ったり、関係が継続できるよう支援している。	希望に応じて自宅訪問、理美容院、墓参り、病院受診者との交流、身内や友人との交流支援に努めている。携帯電話の支援で周囲との交流維持を図った事が利用者の安心に繋がり、ホームでの生活がスムーズにできている例もある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士で馴染みの人の居室を訪問したり、レク活動やお茶食事の時間等、利用者同士が自由に交流が深められるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された家族がボランティアで踊りに来られたり、現在の状況を相談したりされており、継続して、支援が出来るよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの希望や、意見を聞きながらケアプランに活かし、その思いを受けとめ、本人の意向に添った暮らしが継続出来るように支援している。	個々の症状に応じた対応を心がけたケアを実施している。職員と利用者がなじみの関係を構築し、個々の思いや意向の把握ができています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々の暮らしの中や、面会時の家族の話の中で、本人から得られた情報をケース記録に記録したり、勉強会で情報共有し把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人ひとりの生活パターンをアセスメントし、行動言動などケース記録に記録したり、連絡帳、申し送り等で利用者の状態把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月2回の勉強会や3ヶ月に1回のモニタリング、受診時に主治医の意見を聞きながら本人の希望、家族の思い、職員やソーシャルワーカー等、必要な関係者と話し合いながら、現状に即した介護計画を作成している。	地域密着型サービスとして家族や知人、なじみの人達との交流や外出支援に努めている。地域住民、保育園児、家族とのかかわりを明記し、利用者の生活の質の向上、活性化に結びつけた計画を作成している。	

鹿児島県 グループホームはまなす

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一人ひとりのケース記録や、連絡帳、インシデント報告書、生活日誌、申し送り帳、それぞれのチェック表に具体的に記録し職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに反映している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	協力医療機関への受診付き添いや外出、外泊時の準備、食事の配慮、面会時の配慮など、できる限り本人、家族の要望に応じた支援をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	生産者直売のお店での買い物やホーム周辺での山菜取り、地域の方の庭の花畑見学など、地域の方達の協力の下で暮らしを楽しめるような支援を行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療においては併設病院による24時間バックアップ体制が整い、受診時は職員が付き添い、タイムリーに家族に報告している。希望時は他科受診を支援している。	本人、家族などの希望するかかりつけ医の受診の継続と、協力医療機関の看護職員との間で24時間協力体制ができている。身体状況に応じて往診もある。	

鹿児島県 グループホームはまなす

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	併設病院の看護職員と、24時間バックアップ体制が整い、月1回の医療安全委員会に参加して情報を得たり、気がかりな事を相談し、助言を貰いながら、異常の早期発見と、悪化防止に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には本人への支援状況や支援方法など医療機関に情報提供している。又家族とも連携をとりながら回復状態を把握して受け入れ態勢を整え、主治医や看護師とも連絡しながら早期退院に向けて支援している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入院治療を必要とする段階に至った時には医療機関へ転移となる事は入居申し込み時に説明、その段階に対する詳細な状態も文書で説明している。協力医療機関と連携をとりながら支援している。	指針を作成し、看取りの経験もある。運営推進会議でも議題として話し合い、関係者や職員も方針を共有している。本人や家族の希望により、協力医療機関看護師の協力の下、ホームで対応できる最大限の支援を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応については定期的に応急処置の仕方、初期対応の訓練等勉強会で行っており、年1回、消防職員による救急救命法の講習を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>併設病院の災害防止対策委員会にも、月1回出席し、地域推進会議等でも地域の方達の協力を得ながら避難訓練を行い、毎月1回は夜間想定での避難訓練を行っている。</p>	<p>自主訓練として職員一人ひとりが自信をもって行えるよう実践的な訓練を毎月している。併設の病院、職員寮の協力体制ができていている。運営推進会議と同時に実施し、参加メンバーから意見や助言をもらったこともある。スプリンクラーの設置、備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人の人として尊厳する事は運営理念に掲げ全職員で意識している。勉強会での職員個々の振り返りを行い、尊厳を守るケアを実践できるように自己覚知に努めている。	理念にも謳っているように尊厳、自立に向けたケアの実践に取り組んでいる。勉強会も定期的に行い、職員の資質、向上に繋げている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	外気浴や散歩、洗濯、お茶、買い物支援、空調設備の利用、家族や知人への電話、昼寝など一人ひとりの希望や思いを気軽に表出できるような配慮声掛けをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	週単位、1日の流れは設けているが強制する事は無く、一人ひとりのペースで生活されている。今、どう過ごしたいか希望を聴いて添えるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	行きつけの美容院に出かけたり、訪問美容を利用して、身だしなみやお洒落ができるように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の旬の食材を、農産物直売所に買い物に行って、下ごしらえしたり、配膳、片付け、台拭きなどできることをして貰っている。ツワ剥き、豆剥き等意欲的に楽しまれている。	春は山菜取りに出かけ、利用者の好みを献立に取り入れている。下ごしらえ、配膳、片付け、台拭きなど役割を持って職員と共に楽しんでいる。おやつ作りを楽しむこともある。運営推進会議の後にメンバーと一緒におやつ作りを計画している。	

鹿児島県 グループホームはまなす

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食指に応じた配膳がなされており、食事摂取量のチェックや、咀嚼、嚥下に応じた調理を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアは確実に声掛けする人、介助で行う人傍で見守る人と、それぞれの本人の力に応じた口腔ケアをしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表や、本人の仕草、表情観察でトイレ誘導を行い、失禁やパット類の汚染を予防している。見守りや介助のもと、全員トイレで排泄されている。	排泄チェック表によりパターンをしっかり把握している。昼間は職員のコマメな声掛け、誘導で早めの対応が失敗のない支援につながっている。夜間のみ本人の身体状況に応じてポータブルトイレを使用している。尿臭の無い、清潔な管理ができています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事は繊維質の多い食材や野菜を多く取り入れ、牛乳、肉等バランスよく取れるよう配慮している。水分補給の必要性も随時説明し、排泄チェック表で排便も把握、便秘予防に努めている。		

鹿児島県 グループホームはまなす

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人の気持ちを尊重しタイミングにあわせて入浴してもらっている。入浴日は決めているが、本人の希望に添えるよう柔軟に対応している。	基本は週3回だが、個々の状況に応じてその都度対応している。個別ケアとして温泉に出かけることもある。利用者が浴槽に入ったり、立位の維持ができるように常時リハビリを推奨している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼間の活動を通して生活のリズムを整え、メリハリをつける支援をしている。昼間の休息もその人のペースで自由に気持ちよく取れるように配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	毎月の振り返り時、服薬状況を確認している。薬の変更があった場合には連絡帳に記載し申し送り、職員全員が周知するようにしている。処方箋をファイルし、内容を理解している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の希望や意向を聞いて、その日の関わりに繋げている。台拭き、カーテンの開閉、配膳、箸配り等、洗濯物畳み等役割を持って有用感が感じられるよう配慮している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その人の希望に添って、散歩や山菜取り、買い物、ドライブ、ふるさと訪問、墓参り等に出かけている。家族と連携をとりながら、行きたい所に出かけられるように支援している。	利用者の希望に添って散歩、買い物、ドライブ、自宅訪問、墓参り、地域行事、保育園交流、弁当持参の花見、鶴見物、造形展見学などの支援に努め、生活の活性化を図っている。	

鹿児島県 グループホームはまなす

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>一人ひとりの力を見極めながら買い物支援時、自分でお金を支払う機会を作っている。金銭出納長に記録し、家族には定期的を確認して貰っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>日常的に家族や知人からの電話は取り次いでおり、本人が希望された時には電話で語れるよう支援している。保育園児にお礼の絵手紙を書かれている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>テーブルには季節の草花を生け居間や、食堂に行事等の思い出の写真を飾っている。玄関にはベンチを置き居心地良く外気浴が出来るような工夫をしている。カーテンやよしずの利用で快適に過ごせるよう配慮している。</p>	<p>共用空間は広く、ウッドデッキにすぐ出られる設計になっているので開放感がある。大きなダイニングテーブルやテレビ鑑賞用の大きなソファが置かれている。リビング部分は床暖房完備になっている。リビングの窓ぎわは日当たりが良く冬場の日光浴に最適の場所となっている。玄関、廊下など車椅子でも十分対応できる広さである。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居間のソファで会話したりテレビを見たり一人ひとりが思い思いに過ごせるようそれぞれの座る場所が暗黙のうちに決まっている。気の合う人と楽しく過ごせたり、一人でゆっくり過ごせるように配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人の馴染みの荷物など持ち込まれ、タンスや衣装ケースを置いたり、お位牌、仏壇、思い出の写真、カレンダー、飾り物などでそれぞれ居心地良く過ごせるよう工夫をしている。</p>	<p>仏壇、時計、タンス、衣装ケース、椅子、家族や孫の写真などそれぞれなじみの物が持ち込まれている。読書好きな利用者の居室には本が置いてあるなど、利用者の想いを汲み、個別性に配慮した居室づくりを支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下には手摺りをつけてあり、車椅子が自由に動けるようバリアフリーになっている。居室の入り口には顔写真を貼って、自分の部屋が判る様に工夫し、安心安全に生活できるよう配慮している。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホームはまなす

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホームはまなす

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない